

2024. 10. 26

県駅伝交流対抗戦参加チーム

大会役員、参加陸協 各位

長岡市陸上競技協会 会長 竹内 富雄  
県駅伝交流対抗戦実行委員 代表 藤田 五郎

新潟県駅伝交流42, 195km対抗戦への参加および協力について（お礼）

朝と日中の寒暖差の激しい季節ですが、皆様におかれましては体調にご留意されお過ごしのことと存じます。

さて、先日開催いたしました「新潟県駅伝交流対抗戦」にご参加いただきましたチームの皆様、また、運営にご協力いただいた役員の皆様、そして関係各位の皆様に変感謝申し上げます。事故や怪我、体調を崩す方もなく、無事に大会を終えることができましたことに関係者一同ホッとしているところです。

当日は雨もなく、前日からぐっと冷え込んだ気温でしたが競技にはちょうど良いコンディションで、交流対抗戦の名のもと各チームが一丸となって記録に挑み、競い合えたこと。「襷を繋ぐ」形ではありませんでしたが、各区分におけるチームの集計タイム差は駅伝を彷彿とさせるものではなかったかと感じています。大会を通じ多くの自己記録、シーズン記録の更新もあったようで主催者として大変嬉しく感じます。

戦後76回続いてきた伝統ある県駅伝大会が無くなってしまうこと。安全安心を求める時代の流れということもありますが、非常に寂しく、先人の熱い想いを私たちがしっかり受け継ぎ、守れなかったことは悔しく残念なことと感じています。競技に取り組んできた選手や子どもたちのひとつの目標を失わせてしまうこと。少子化により今後の競技人口減少が確実視される中で、生涯競技としての長距離種目の継続、裾野を広げていくためにも今回はこのような形で開催させていただきました。

県内広域15市区町23チームからご参加いただき、「楽しかった」「開催してもらって嬉しかった」などの声をたくさん頂戴したところです。

来年度以降、どのような形で県駅伝大会が開催、引き継がれるのかは不透明ですが、このような形でも各チームで競い、楽しむことができたということを方法のひとつとして示せたのではないかと感じています。伝統、絆を大切に受け継ぎ、全県レベルでまとまって開催できることを切に願っております。

このたびは大変ありがとうございました。